

看護研究同意説明書

私たちは「膀胱留置カテーテル留置中の男性外来通院患者様における尿道口の医療関連機器褥瘡（以降、MDRPU とする）発生の実態調査」研究に取り組んでいます。

1. 研究の背景意義および目的

膀胱カテーテル留置中の下腹部へのテープ固定と尿道口の皮膚の赤み、ただれ、傷など（MDRPU）の発生についての関連は明らかになっていません。そこで今回、膀胱留置カテーテル留置中のテープ固定状況と尿道口の MDRPU 発生について現状の実態調査をすることを目的としています。

2. 研究意義

男性の外来通院患者様における膀胱留置カテーテルのテープ固定と MDRPU の発生状況の現状調査を行います。研究結果によっては、テープ固定の有無について、患者様の苦痛がより少ないと思われる方を選択していただくことが可能となります。

3. 研究方法

対象者は、シリコン製フォーリーカテーテルで閉鎖式採尿バックに接続されたものを使用して、定期交換している男性患者様としています。

膀胱留置カテーテル交換時に、看護師による皮膚の観察と、カルテから情報を元に問診などさせていただきます。研究期間内に、1 ヶ月以上膀胱留置カテーテルを留置している患者様に対して、一度だけ評価を行います。

4. 研究予定期間

2025 年 9 月～2026 年 2 月頃までに行います。

5. 研究を実施する研究者

外来 職名：看護師 氏名：早川つゆ子、川嶋沙織、鵜飼亜由美、向井理恵、
高倉千ほみ

6. 研究により予想される利益と不利益

＜予想される利益＞

将来の膀胱留置カテーテル留置中によるテープ固定と皮膚トラブル予防において有益な資料となる可能性があります。

＜予想される不利益＞

時間的拘束が生じることがあります。

7. データの保存方法と保管期間、個人情報の取り扱い

研究開始から研究発表終了後までは、研究データや個人情報が記された資料は、鍵をかけて厳重に保管します。集計した情報はパスワードをつけたエクセルに保存し、研究担当者が管理します。研究発表終了後、紙媒体はシュレッターにて粉碎破棄し、電子媒体は復元が不可能なように消去します

8. 研究結果の公表

この研究で得られた情報は、院内看護研究等で発表する予定です。発表の際に個人が特定されたり、情報が公表されたりする事はありません。

9. 研究への参加の任意性

研究目的や内容を文書で説明し、同意された方を対象に研究させていただきます。研究の開始前・開始後にかかわらず、同意はいつでも撤回でき、撤回しても何ら不利益を被ることはありません。

10. 問い合わせ連絡先

本研究に関する質問、相談がございましたら下記連絡先までご連絡ください。

住所：〒451-8511

愛知県名古屋市西区栄生2-26-11

電話：052-551-6121（代表）

外来 看護師 氏名：高倉千ほみ（部署責任者）